

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	日々楽しく暮らせるようにする	利用者のペースを大事にしている
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関にあり皆が見える位置にある	毎日見て心掛けるようにする
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議にて地域の方、家族、行政の方と交流をし意見を交わしている。地域の祭り、保育園、小学校の行事には参加をしている	運営推進会議の内容等を皆に知らせ内容を分かりあっていく
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地元の作物の購入(米、卵)したり、GH裏の畑の方との会話など顔見知りが増えてきている	気軽に立ち寄れるようにこちらから催し物をしたり声かけをしていく
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元の保育園の運動会、小学校の発表会、祭りの参加等を通して交流をしている	自治会、老人会等にも参加は少ないが積極的に参加していきたい。事業所からも情報を発信していくように心がける

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域高齢者の取り組みは行えていない		今後、検討していきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員に外部評価への取り組みを理解してもらうために自己評価を作成してもらっている。またその中で分からない点や、達成出来ていない点を議論している		自己評価から分かる点など、普段からの職員の意見交換を大切にしていきたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家人にも案内を出し他職員にも出席してもらうようにしているが今年度は2ヶ月に一度出来なかったので増やしていきたい	○	議事録の観覧をし職員全員が内容の理解に努める
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	南区介護保険サービス連絡協議会に参加し、情報をえている		今後、市の行事があれば積極的に参加していきたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	入居者にも成年後見制度をされている方がいる。家人に成年後見制度セミナーの案内も参考として送ったことがある		まだ、制度の知識、理解が不十分でありもっと理解し皆で分かりあうように話し合いを持つようにする
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員全員が意識を持ち取り組んでいる		再認識をしさらに徹底をしていく

洛和グループホーム久世(2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>書面を使い分かりやすく説明をしている</p>	<p>○印</p> <p>その他、不安、疑問を尋ねやすいように職員も雰囲気を作りだしていく</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に言い出せるように普段からの関わり合いを大事にしていく。又それを見抜いていけるように職員間で議論している</p>	<p>○印</p> <p>苦情ポストを設けている</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の移動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の状態変化等は随時、電話連絡や面会時に報告している。チェック表も渡している。金銭管理も金庫にて保管、出納帳チェックしている。移動についても随時報告している。</p>	<p>○印</p> <p>職員全員が把握し家人に聞かれてもいつでも答えられるようにしていきたい</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議、ケアカンファレンスに出席してもらい意見を求めている。又苦情箱、ISOシステムを活用している。定期的に家人へのアンケートを送付している</p>	<p>○印</p> <p>いつもより意見を言いやすいように家人と会話を増やす。苦情箱も活用していく</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月末に自由発言によるカンファレンスを行っている。又管理者、事業所長、統括による面接を定期的に行っている</p>	<p>○印</p> <p>それ以外にも職員同士が普段から意見交換を出来るように配慮していく</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>必要時には職員を増やしたりしている。1Fや2Fの職員の助け合いなどもしている</p>	<p>○印</p> <p>必要時には職員が出られるようあらかじめ話をしていく。又人員確保を人事に要請していく</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>出来る限り移動を少なくしている。</p>	<p>○印</p> <p>移動があった場合は利用者の様子を観察し、必要なケアを心掛けたい</p>

洛和グループホーム久世(2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>均等に職員が参加出来るように配慮している。又、研修の情報があれば事業所ないに掲示して個人でもいけるようにしている</p>	<p>研修後に得た知識や資料を皆が勉強出来るようにしていきたい</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>組織内で他の事業所と連絡を取り合っている。研修や、事例発表、イベント等でネットワーク作りをしている</p>	<p>組織外の事業所とも連携を図れるように市の会議や催し物があれば積極的に参加していく</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>リフレッシュ休暇取得、有給取得等で取り組んでいる</p>	<p>いつでも相談できる雰囲気を作っていく</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>外部、内部での研修を充実させている。</p>	<p>自分一人だけではなく皆が分かり合えるように学んだことを報告していく</p>
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>本人見学の時等から相談に乗ったり相談員の配置などで対応している</p>	<p>職員からも聞き又聞かれやすい雰囲気をつくっていく</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族の不安に思っている事を出来る限りきいている。面接時に家人宅を訪問し時間をとっている</p>	<p>他職員も出来る限り聞けるようにしていく</p>

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	出来る限りのサービスも説明したり、家族との色々な相談をしている		他職員にも加わってもらい色々なアイデアを出していくようにしたい
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家人との連携を重視しながら様子をみている。又本人が気を使わないようにアットホームにするように努めている		常に安心して楽しい雰囲気作りをしていきたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の得意とするをともにしたり、人生の先輩として色々な話を聞いたりしている		利用者の出来ることをもっと理解し共有の時間を増やしていきたい
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事に参加してもらったり、時には雑談をしたりして共に気兼ねなくできる関係を築いている		家人が特定の職員だけでなく全職員とも気兼ねなく話せるようにしていきたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	普段の利用者の過ごし方を伝えたり、チェック表を渡している。又写真を渡したりもしている。家人が利用者と接する時間をとったりお互いに楽しく過ごせるように行事に参加してもらったりしている		家人面会時にはその日の様子や日々の様子を伝え接しやすいようにしていきたい
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	普段の会話から馴染みの人の名前を入れて話したり、個別外出で思い出の場所へ行ったりしている		家人と連携をとり、実際にその人と会って良いか、その場へ行って良いかを判断し出来る限りその意向に添えるようにしていきたい
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士、気の合う人合わない人を把握し座席配置や外出などを考えている		職員同士で情報交換を蜜にしていきたい

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後写真を提供したり、家人から手紙をもらったことがある		退所後も相談があれば相談にのっていきたい
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	カンファレンスに同席をしてもらっている時もある。困難な場合は、家人に出来る限り本人の情報を提供してもらっている。カンファレンス時には希望表があり意向も聞き取りを行っている		常に希望を聞き取り出来る限り対応していきたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケース記録、本人、家人等から把握している。例)新聞をとる。畑仕事をする等本人の今までしてきたことを出来る限り変えないようにしている		職員がもっと理解できるように家人からの聞き取り、時間をかけての本人からの聞き取りをもっとしていきたい
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	本人の笑顔、話、職員からの送り等で把握するように努めている		心身の状態の変化があればその都度カンファレンスを行っている
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家人からのヒントや職員のセンター方式記入などで考えている。又家人にケアプラン時には要望を聞いたり出席してもらったりしている		出来る限り本人、家人がケア会議に出席できるよう日時等を調整していきたい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家人との話し合いの場をもうけカンファレンスを行っている。退院時にはいつも計画を作っている。又変化があれば随時プランの見直しも行っている		常に職員、家人と話し合いをし計画の妥当性を確認していきたい

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録には、本人の言ったことをそのまま記入したりしてどのような訴えがあったかを誰がみてもわかるようにしている。特記事項は赤ペンで書くなどしている		今以上に利用者の情報交換をしていき、記録も、もっとわかりやすく書いていこう統一していきたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	往診、訪問看護、訪問歯科を行っている。又洛和系以外で訪問マッサージに来てもらい必要な方には行ってもらっている		今以上に多機能性を増やし、選択肢を増やしていきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの方に来てもらい、大正琴、フラダンス等している。消防の方にも来てもらい消防訓練も行っている、FAXを通じて注意も指導してもらっている		これからもっとボランティアを増やしていきたい、又地域との連携をもっと深めるよう色々な行事に参加していきたい。中学生のチャレンジ体験も一度行った
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	GH入居で保険は上限のため他サービス利用は行っていない		利用者負担になるが希望があれば訪問マッサージを受けている方もおられる。介護用ベットもレンタルされている方もおられるが自己負担である
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議にて地域包括センターと協議している		運営推進会議以外にも相談などしていきたい
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診、週1回の訪問歯科、又洛和以外の精神科も家族同意のうえ診察している		本人が昔からのかかりつけ医の方もおられる

洛和グループホーム久世(2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門HPの精神科受診を行い、家人もつきそわれるなどしている		全職員がHPへ行けて医師と関係をもてるように考えていきたい
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週1回の訪問看護により利用者と馴染みになっている		地域の看護職との相談はないので考えていきたい
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入居者と共に見舞いに行ったりしている。退院時に備えて情報を得るように相談員を交えての連携もとっている		全職員が対応出来るように確認をとっておくようにしたい
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	定期的なカンファレンスにより相談をしている		再度職員で確認をしていきたい
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	見取り指針などで家人に説明をしている。また必要時には医師、家人と話が出来るように調整をしている		医師、家人職員がもっと連携を蜜にしたい
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入院によるケースがある。そのときはサマリーを出来る限り詳しく書いている		今後、口頭等で伝えていければ更によいと思われる

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人を尊重した対応をしている個人情報の取り扱いにも十分注意している	プライバシーを損ねないように再度徹底したい
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	無理強いせずに本人主体のケアを心掛けている	何かするときは声かけを行っている
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせて行動をしている	朝食などは、その人のペースに合わせて提供している。利用者の生活暦を把握していく
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	外出時には本人と化粧をしたり、マニキュアをしたりしている	訪問のビューティーヘルパーを活用している。又望みの店でのカット、染めをしている利用者もおられる
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	準備、配膳、共に作るなどしている。冷蔵庫を見たり何を作るか共に考えたりしている	限られた利用者になることが多い。色々と利用者に関わっていくようにする
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒の好きな人には夕食に提供したり、栄養ドリンクを入浴後に提供したり、タバコも喫煙所があり提供している	利用者が偏ったりするので均等にしていきたい

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	職員でその方に合わせた誘導を行っている		排泄の合図、サインを職員で見極めて行っている
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望する時間にいつでも入って頂いている		朝風呂が好きな方、夜皆が寝た後に入られる方がおられる
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ソファなどで傾眠されるときなどはそっと毛布をかけたり体調にも気を使い対応している。		申し送りなどで夜間の睡眠の状態などを皆で確認していきたい
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の趣味をしり対応をしている		例) 手芸、料理、カラオケ、生け花、行事、ボランティアの参加等
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	その時の状況に応じて買い物に出かけ共に選び使っている		お金の所持は家人に了解を得てもらっている。多額な金額はGH管理となっている
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人で外出可能な方は職員見守りと家人の同意を得てグループホームの駐車場に行ってもらっている。他の方は定期的に外出を行っている		よく外出される方とされない方が偏ってしまうのでまんべんなくしていきたい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	コミュニケーション等から行き先などを決めたりしている。家人との外出も自由に行ってもらっている		今以上に個別外出を増やしてニーズに添えるようにしていきたい

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	退所されたが居室に電話をひいたことがある。手紙なども家人との連携により行うようにしている。ただ、家人より手紙を出さないでという要望の方もおられる		利用者には電話が出来ることや手紙を出せることを知らない方もおられるので職員よりはたらきかけていきたい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも立ち寄れるホームにしている。宿泊された家人もおられる		利用者の事情もあったり家人との事情がありすべての知合いを合わせる事が出来ないときもある
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が理解をしている。話し合いも行っている		身体拘束に細かいところまでさらに考え注意していく
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は夜間のみしている		鍵は日中はしていないが玄関を出るとブザーが鳴るようにしている。そこで止めずに後方についていき安全な見守りを行っている
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	全体を把握するために職員は皆が見渡せる位置に座ったり、職員同士で利用者の確認の声かけをしている		利用者居室に入るときも職員にて声かけをしている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	随時カンファレンスをして気をつけている		職員や訪看、医師などとも相談している
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員同士の声かけ、研修、訓練をして確認をしている		事故を起こさないようにも職員が意識を持ちまた確認をしていく

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	研修等行って勉強はしている、緊急時の対応マニュアルはあるが訓練はあまりできていない。	○	実際の対応などを想定した訓練などが必要である。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	2ヶ月に一度避難訓練を行っている。又年に一度、消防の方との訓練をしている		2ヶ月に一度行えなかった時もあるので徹底していききたい。又訓練に参加出来なかった職員にも記録などをみてもらい把握してもらう
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	ケアプラン会議などに参加してもらい現状を知ってもらっている。また今後のリスクなども話し合っている		随時電話などで連絡をしている
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員で申し送りをして共有している。ナース、医師にも相談をしている		入浴時の全身観察、入眠の状態、歩行状態、毎日と違う動きなど報告しあっている
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬ファイルを作成しており、すぐに目を通せる状態にある		薬が変わったりしたときには職員で薬のことについて話し合う場を作り、皆が理解できるようにしていきたい
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便のことについて皆で申し送りをを行い対応などを考えている。ナース、医師にも相談をしている		食事の内容や適度の散歩、水分調節をしている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後は行っていないが、週1回の訪問歯科の指導などを聞き口腔ケアには気おつけて行っている		夜間義歯はポリデント、自らできる方には声かけをして行ってもらっている

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量については全員、水分については管理が必要な方は水分量をケース記録に記入している		食事が食べにくい時は栄養補助食をしたり、水分については夜間にも水分補給をしたりしている
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	研修に参加をしマニュアルも用意している。インフルエンザ予防接種している。疥癬はまだない		塩素系のスプレーを作りトイレ掃除のとき活用している。利用者、職員しっかりと手洗いをしている
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	賞味期限の分かりやすい表示を書いたり、毎晩のまな板、布巾をハイター消毒をしている		手拭きタオルはなく全て使い捨てのペーパータオルで対応している
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に看板がある。又植木を植えていたりベンチを置いている		枯れたり、落ち葉の葉がそのままになったりしていることがあるので、植木の手入れをしていく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物の外は畑が広がり季節を感じることができる。10日に1回は花屋さんからの生花もくるので皆で生けて季節感を感じるようにしている		前の道路がよくバイクやトラックが通り大きい音がすることがある
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置いたりして思い思いのところに行けるようにしている		完全に独りになるような場所は共有空間になく居室しか今はないので少し離れた場所にも作るようにしたい

洛和グループホーム久世(2階)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ほぼ全ての利用者に使い慣れた家具をもってきてもらっている		一部、不穩で居室に家具がない方もおられるので可能な範囲で家人と検討していく
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	1日に1回は喚起を行っている		汚物室がないためトイレに汚物ゴミ箱を置いている。しっかりと密封し消臭剤や定期的に交換し対応している
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの配置や、家具を歩く導線などに配置している		浴槽は一般的なもので入りにくい方もおられる。職員で介助は行っている
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	物の置きすぎや新聞などの取り込みで物があふれかえる利用者がおられる。職員と共になり整理をしたり、家人に持って帰ってもらうように対応をしている		リビング手作りカレンダー、新聞、行事ポスターの掲示をしている
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑での作物作り、ベンチにての気分転換、鉢植えをおいたりして活動している		ベランダには物を干すと狭くなるが外を眺めたりして気分転換につながっている

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

洛和グループホーム久世(2階)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

地域性を活かし近所の養鶏場への利用者との買い物、地元の米屋さんからのお米の購入、地元の宅配屋さんからの購入等地域に密着した取り組みを行っている。又保育園や小学校からも催しの時には声をかけてもらっている。